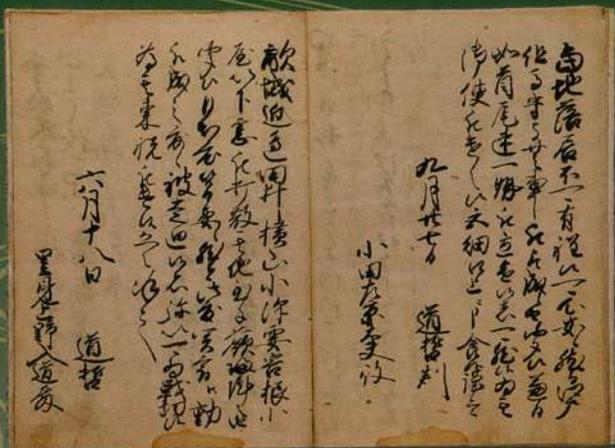




さくら市制二十周年記念 第一〇七回企画展
鎌倉公方足利氏の至宝 喜連川家文書



目次

ごあいさつ

図説解説

はじめに『喜連川家文書』とは……………5

第一章 鎌倉公方から享徳の乱を経て古河公方へ……………11

第二章 古河公方と小弓公方（分裂する公方家）……………19

第三章 喜連川足利氏の誕生と天下人……………35

第四章 古河公方から喜連川家へ伝えられた文化……………49

第五章 江戸時代の喜連川家の文書……………55

寄稿論文

喜連川足利氏の成立と喜連川家文書の形成

宇都宮短期大学 教授 江田郁夫……………92

関東戦国史の展開と古河公方足利氏

駿河台大学 教授 黒田基樹……………98

関係資料

鎌倉公方・喜連川家関連年表

主な参考文献

掲載資料一覧

協力者一覧

例言・凡例

・本書はさくら市ミュージアム「荒井寛方記念館」さくら市制二十周年記念 第一〇七回企画展「鎌倉公方足利氏の至宝 喜連川家文書」の企画展図録です。

・本展覧会の会期は、令和七年十月十八日（土）～十二月二十一日（日）（前期：十月十八日（土）～十一月十六日（日）、後期：十一月二十一日（金）～十二月二十一日（日））です。

・本書に対し、宇都宮短期大学教授・江田郁夫氏、駿河台大学教授・黒田基樹氏より玉稿を賜りました。心より御礼申し上げます。

・会期中、展示替を行うため、本書に掲載の資料すべてが展示されているとは限りません。また、写真パネルでの展示品もあります。

・本書の資料配列と展示配列は会場の都合上一致しません。

・実物展示、複製品展示、写真パネルによる展示の別は、本書巻末に示しています。

・本書掲載資料の釈文、読み下しの多くは『喜連川町史』第五巻「資料編5 喜連川文書 上下（二〇〇七年）」に掲載されています。紙面の関係上、掲載史料全てに釈文、読み出し文を付すことが出来ないため、『喜連川町史』第五巻をご参照下さい。

・研究により推定される和暦は（ ）で括り表記しました。

・本書の編集は、さくら市ミュージアム「荒井寛方記念館」が行いました。

・本企画展は、一般財団法人 自治総合センター 令和7年度コミュニティ助成事業助成金を得て開催しました。

表紙使用写真

- ①豊臣秀吉朱印状
（文禄2年）（1593）2月28日
さくら市蔵 喜連川家文書 8
- ②文禄慶長御書案一
安土桃山時代（16世紀）
さくら市蔵 喜連川家文書 37
- ③氏姫寄進状
天正19年（1591）9月7日
さくら市蔵 喜連川家文書 25
- ④山中長俊書状
（天正18年）（1590）8月22日
さくら市蔵 喜連川家文書 124
- ⑤足利尊氏公木像
寛文6年（1666）
さくら市指定文化財

裏表紙使用写真

- 天明元年目録
天明元年（1781）小春（10月）吉日
さくら市蔵 喜連川家文書附 1

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－
さくら市制20周年記念 第107回企画展
栃木県指定有形文化財指定記念
鎌倉公方足利氏の至宝
喜連川家文書



令和7年10月18日発行

編集・発行 さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－
〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297
TEL 028 (682) 7123 FAX 028 (682) 7854

印刷 株式会社タートル